

# 仕事 の 余白



薬の開発には膨大な資金と時間がかかる。二〇〇五年度の厚生労働省医政局の資料によれば、一つの新薬の開発には九十七年、一品目約五百億円を要するという。製薬業に門外の私が薬の開発にかかわったのは、中国にある痔の

で使用され臨床もある。輸送コストもかからない。まさしく沖縄の知的産業に成り得ると心が躍った。

ところが、日本の厚生労働省は甘くなかった。中国での認可は通用せず、新薬として開発はイロハのイから始めなければならなかった。

かくして無謀にも新薬開発に足を踏み入れたのだが、果たして念願の製造承認が得られたのは、開発から十五年目、開発費は共同開発社と双方で四十億円を計上し

## 新薬の開発資金

— 奥 キヌ子 —

治療薬(注射剤)に魅せられたからだ。とにかく薬効がすごい。沖縄で製造販売ができないかと考えた。

学生のごころ、特異な行政環境の沖縄にじれた。初めて相談にうかがった厚労省の技監が発した言葉が今も耳に残

行政環境の沖縄にじれた。初めて相談にうかがった厚労省の技監が発した言葉が今も耳に残

った。初めて相談にうかがった厚労省の技監が発した言葉が今も耳に残

「資金は、奥財閥か

「資金は、奥財閥か

「の薬なら現に中国

長)

「琉球新報」提供